

特別調査の作業班の構成及び進め方について (◎は班長)

調査項目	班構成	進め方
1. 診断群分類の妥当性 1-1 ○ 診断群分類の該当率 1-2 ○ 診断群分類の構成割合 1-3 ○ アウトライヤーの状況 1-4 ○ 包括範囲点数及び在院日数のはらつき 1-5 ○ DPC 変更率、変更理由	◎斎藤内科系総括 ◎出月外科系総括	○ MDC毎の作業班を設置し、検討を行う。
2. 診療内容の変化等 2-1 ○ 平均在院日数（診断群分類別、MDC別、医療機関別、診療科別等） 2-2 ○ 病床利用率 2-3 ○ 入院・外来比率 2-4 ○ 入院経路、退院先 2-5 ○ 退院時転帰（入院中死亡率等）	(診療報酬調査専門組織で議論)	○ 7月から10月までの退院患者にかかる調査のデータを集計し、診療報酬調査専門組織で議論する。
2-7 ○ 再入院率	◎安川委員 西岡委員 原委員 柿田委員	○ 7月から10月までの退院患者にかかる調査のデータを集計し、再入院ありと判断されたデータについて、再入院理由（計画された再入院であったのか、予期せぬ再入院であったのか）を調査する。 ○ 調査票は、平成15年度の調査項目を参考とし、必要に応じて見直す。調査期間は1月程度としてはどうか。

	調査項目	班構成	進め方
2-6	(退院後追跡調査) <input type="radio"/> 退院後転帰 <input type="radio"/> 他医療機関への再入院率 <input type="radio"/> 転院先医療機関従事者満足度	◎酒巻委員 池上委員 熊本委員 三上委員 安川委員	○ 既存データの確認を行い、既存データで可能な分析を検討する。 ○ 逆紹介先の医療機関に対し、逆紹介先の病院において調査を行う。 ・ 逆紹介先の病院における調査は、ある1週間の退院患者を対象としてはどうか。 ・ 転院先医療機関従事者満足度については、ある1日の調査としてはどうか。 ○ 3年計画で全施設について調査を行う。 ○ 保険者側からの調査について検討する。
2-8	○ 薬剤・医療材料の使用状況	◎伊藤委員 谷川原委員 山口委員	○ 分析手順について検討する。 ○ 7月から10月の退院患者に係る調査に基づき集計・分析を行う。 ○ 必要に応じて追加調査を検討する。
2-9	○ 検査・画像診断等の実施状況	◎斎藤委員 原委員	○ 分析手順について検討する。 ○ 7月から10月の退院患者に係る調査に基づき集計・分析を行う。 ○ 必要に応じて追加調査を検討する。
2-10	○ 医療の達成度、患者満足度	◎熊本委員 吉田委員 信友委員	○ 医療の達成度等の医療従事者満足度調査、患者満足度調査を実施する。

	調査項目	班構成	進め方
2-12	<input type="radio"/> 看護の必要度	<input type="radio"/> 小島委員 <input type="radio"/> 熊本委員	<input type="radio"/> 既存のデータの確認を行い、既存データで可能な分析を検討する。(文部科学省への届出情報を含む。) <input type="radio"/> 看護の必要度に関する追加調査を行う。
2-11	<input type="radio"/> アウトカム評価、臨床指標	<input type="radio"/> 武澤委員	<input type="radio"/> 7月から10月までの退院患者に係る調査および12月に実施する医療機関の機能の評価に係る調査を素材として、医療機関の機能の変化アウトカム評価、臨床指標に係る集計・分析を行う。
3-1	<input type="radio"/> 医療機関の機能の変化 <input type="radio"/> 高度医療の提供実績	<input type="radio"/> 信友委員 <input type="radio"/> 酒巻委員	
3-2	<input type="radio"/> 教育研修機能	<input type="radio"/> 西岡委員	
3-3	<input type="radio"/> 地域医療との連携状況	<input type="radio"/> 原委員	
3-4	<input type="radio"/> 医療の質に関する取り組み	<input type="radio"/> 柿田委員	<input type="radio"/> 特定機能病院が毎年度末に医政局に報告しているデータを活用してはどうか。
3-5	<input type="radio"/> 医療の提供体制		

⑩